

講習対象:大竹市聴覚障害者防災連絡協議会

ひろしまマイ・タイムライン作成講習会(2回目)

大竹市 危機管理課

1

【事前準備】

- 資料配布(①~⑧一式)
- 再生準備(本パワポ資料、 動画)
- プロジェクター

【原稿】

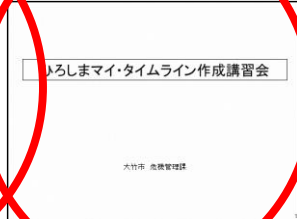
これより講習を開始します。

配布資料

① パッケージ



② 講習資料



③ 避難場所資料

④ 課題

令和3年5月20日避難情報変更に伴う追加資料

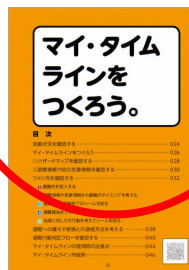
⑤ 基準変更



⑥ パッケージの
変更箇所



⑦ ガイドブックの差替



⑧ シートの差替



以前配布した資料は、お持ちでしょうか？
本日は、丸印示す資料を使用します。

プログラム

3 第2回講習 11月2日(火)10:00~12:00

時刻		項目	備考
10:00	30分	課題完成状況の確認 質疑応答	
10:30	5分	休憩	
10:35	30分	「ひろしまマイ・タイムライン」作成作業	
11:05	5分	休憩	
11:10	20分	作成状況の確認・共有	
11:30	5分	休憩	
11:35	25分	講習内容振り返り 質疑応答	

3

3 第2回講習

課題完成状況の確認・質疑応答、「ひろしまマイ・タイムライン」作成作業、作成状況の確認・共有、講習内容振り返り・質疑応答を行います。

コロナ対策のため、小刻みに休憩を入れ、換気を行います。

第2回 講習

到達
目標

- 1 課題の完成状況を確認し
疑問点を解消する。
- 2 「ひろしまマイ・タイムライン」
を作成する。

4

これより、第2回講習を始めます。

本日の到達目標は、この2つです。

- 1 課題の完成状況を確認し疑問を解消する。
 - 2 「ひろしまマイ・タイムライン」を作成する。
- 以上です。

期限：次回 (第2回) 講習時に持参

**課題の
完成度確認**

完成しましたか？

**不明な点は
ありませんか？**

番号	課題	回答記入欄
1	居住地のハザードマップの印刷をして下さい。確認先：大竹市HP他	印刷が終了したら☑ <input type="checkbox"/> 土砂災害に関するマップ <input type="checkbox"/> 洪水に関するマップ ⇒ 印刷したハザードマップは次回持参
2	ハザードマップ上であなたの自宅はどんな区分ですか？	該当に☑ 土砂災害 <input type="checkbox"/> 赤色：特別警戒区域内 <input type="checkbox"/> 黄色：警戒区域内 <input type="checkbox"/> 色はついてない 洪水災害 <input type="checkbox"/> 色付き：浸水想定区域内 <input type="checkbox"/> 色はついてない
3	あなたが避難できる場所を災害毎に3つ考えて下さい。 考慮すること 1：危険のない場所から選ぶ 2：できるだけ知人・親戚宅と公共の避難場所それぞれを選ぶ。自宅又は自宅近傍でとっさに避難できる場所も入れる。	土砂災害時の避難先 ① () ② () ③ () 洪水災害時の避難先 ① () ② () ③ ()
4	避難するタイミングは何ですか？	避難開始するタイミングに☑ 警戒レベル <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
5	同行者はどなたですか？ (避難先でコミュニケーションをとるために同行者が必要です)	避難する際の同行者は () です。
6	避難開始時に持ち出す荷物は何か？	避難時に持ち出す荷物 ()
7	避難開始までにすべきことは何か？	避難開始までにすべきこと ()

課題の完成度確認を行います。

皆さん、完成しましたか？
不明な点はありませんか？

休憩



換気

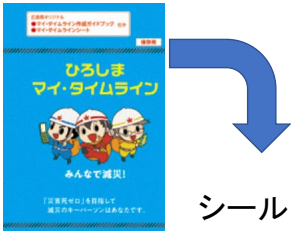


密閉回避

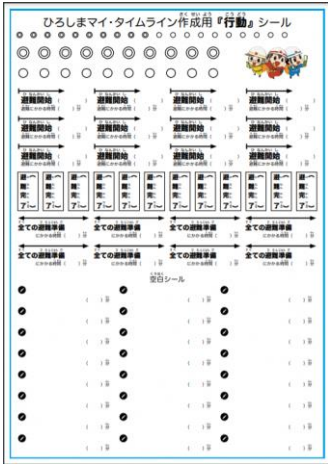
5分間休憩します。
換気をして下さい。

① パッケージ

配布資料

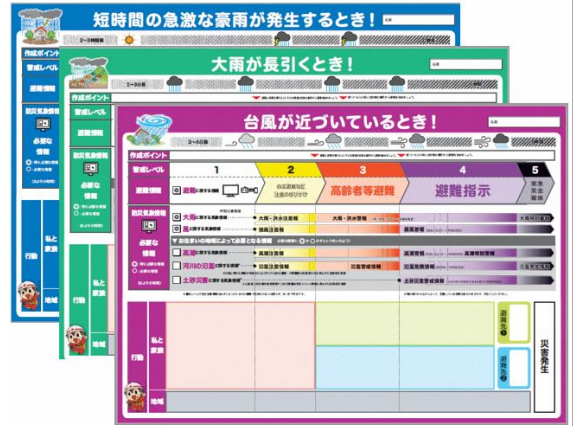


シール



⑦ ガイドブックの差替

⑧ シートの差替



マイタイムラインの作成を始めます。

今から使用するのは、

① パッケージ内の「シール」

⑦ ガイドブックの差替

⑧ シートの差替

です。

3

作成ポイント
警戒レベル
避難情報
防災気象情報
必要な情報
行動

短時間の急激な豪雨が発生するとき!

大雨が長引くとき!

1 台風が近づいているとき!

作成ポイント 避難に関する人々の避難は危険な場所から避難を促しましょう。 遠くとも時には危険な場所から避難を助めましょう。

	1	2	3	4	5
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	避難に関する情報	自主避難など 注意の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
防災気象情報	大雨に関する気象情報 風に関する気象情報	大雨・洪水注意報 強風注意報	大雨・洪水警報 暴風警報	大雨特別警報 暴風警報	大雨特別警報
必要な情報	お住まいの地域によって必要となる情報 必要な情報に☑が○のチェックをいれよう！ <input type="checkbox"/> 高潮に関する気象情報 <input type="checkbox"/> 高潮注意報 <input type="checkbox"/> 高潮警報 <input type="checkbox"/> 高潮特別警報 <input type="checkbox"/> 河川の氾濫に関する気象情報 <input type="checkbox"/> 氾濫注意報 <input type="checkbox"/> 氾濫警戒情報 <input type="checkbox"/> 氾濫危険情報 <input type="checkbox"/> 氾濫発生情報 <input type="checkbox"/> 土砂災害に関する気象情報 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒情報				

私と家族					避難先①
私と家族					避難先②
地域					避難先③

災害発生

- ⑧マイタイムラインのシートは3種類ありますが
- 1 台風が近づいている時
 - 2 大雨が長引く時
 - 3 短時間の急激な豪雨が発生する時
- の順に作成します。

差替分
ガイドブック
23ページ

マイ・タイム ラインを つくろう。

目次

気象状況を確認する	024
マイ・タイムラインをつくろう	026
①ハザードマップを確認する	028
②避難情報や防災気象情報を確認する	030
つくり方を確認する	032
1 避難先を記入する	
2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える	
3 避難開始・避難完了のシールを貼る	
4 避難開始までの行動を考えてシールを貼る	
5 地域に対しての行動を考えてシールを貼る	
避難への備えや家族との連絡方法を考える	038
避難行動判定フローを確認する	040
マイ・タイムラインの使用時の注意点	044
マイ・タイムライン作成例	046



差し替え分のガイドブックを開いてください。

つくり方を確認する

次の1～5の手順でシールを貼って、マイ・タイムラインを完成させましょう。

- 1 避難先を記入する。
- 2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える。
- 3 避難開始・避難完了のシールを貼る。
- 4 避難開始までの行動を考えてシールを貼る。
- 5 地域に対しての行動を考えてシールを貼る。



「行動」シールの使用方法

- マイ・タイムラインシートの行動欄に貼るシールには、「避難開始」、「避難完了」、「全ての避難準備にかかる時間」が書かれたシールと「空白シール」があります。
- 「空白シール」は、自分で必要と思うことを自由に書き込んで使います。



「入手情報チェック」シールの使用方法

- ◎のシールは自宅が災害の想定区域内にあるときに、○のシールはお住まいの市町で災害が想定される場合に必要情報の該当する災害のチェック欄に貼りつけるものです。(P.29参照)

32

1 避難先を記入する

シートに書いてみよう!

- ハザードマップなどを確認しながら避難する場所を決めて、マイ・タイムラインシートに記入しましょう。
- ※災害の種類によって、避難する場所が変わることがあるため注意が必要。

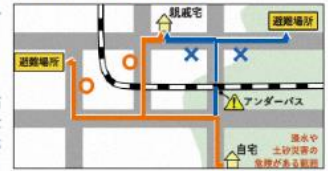


平成30年7月豪雨災害に関する県民の避難行動の調査結果からわかった大切なことです。

ここに避難先を記入します。

- 避難先は、市町が決められている「指定緊急避難場所」に避難することだけではなく、安全な親戚や知人の家などに避難するのも有効です。
- 「指定緊急避難場所」にこだわらない、避難先(商業施設やホテル、親戚の家など)を複数確保しましょう。
- 避難場所での滞在がイメージできるよう避難場所の設備や環境を確認しておきましょう。

- ハザードマップなどを見て、被害のおそれがある場所や低い場所などを避けて、できるだけ安全に移動できる避難ルートを決めましょう。
- できるだけ複数の避難ルートを決めておきましょう。



※指定緊急避難場所

災害種別ごと(洪水・がけ崩れ、土石流及び地すべり・高潮・地震・津波・大規模な火事など)に切迫した災害の危険から逃れるための施設または場所。

※指定緊急避難場所は、ハザードマップや市町のホームページなどから確認することができます。その他に広島県の防災ポータルサイト「広島県「みんなで減災」はじめの一歩」の避難所・避難場所検索からも確認することができます。



33

ガイドブックP32-33

合わせてマイタイムラインシート1台風を出してください。

(左ページ)

次の1～5の手順でシールを張って、マイタイムラインを完成させます。

- 1 避難先を記入する。
- 2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える。
- 3 避難開始・避難終了のシールを貼る。
- 4 避難開始までの行動を考えてシールを貼る。
- 5 地域に対しての行動を考えてシールを貼る。

「行動」シールの使用方法

●マイタイムラインシートの行動欄に貼るシールには、「避難開始」「避難完了」「すべての避難準備にかかる時間」が書かれたシールと「空白シール」があります。

●「空白シール」は、自分で必要と思うことを自由に書き込んで使います。

「入手情報チェック」シールの使用方法

●

◎のシールは自宅が災害の想定区域内にあるときに、

○のシールはお住まいの市町で、災害が想定されている場合に、必要な情報の該当する災害のチェック欄に貼り付けるものです。

(右ページ)

1 避難先を記入する。

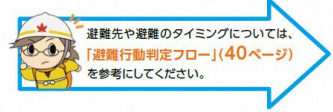
シート右下、オレンジ色の枠内に、避難先を書き込んでください。

2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える

避難情報

- 最も重要な情報は、市町が発令する避難情報です。
- 赤い線で囲まれた気象情報が発表された場合、市町から、状況に合わせて避難情報が発令されます。
※たとえ避難情報が発令されていなくても、同じ赤い線で囲まれた気象情報が出たら、避難を検討してください。
- 避難情報や気象情報をもとに、避難の準備や開始のタイミングを考えてみましょう。

「避難行動判定フロー」で、自宅に留まり、安全確保をすることが可能な人も、避難行動について考えてみましょう。



- 避難指示
遅くともこの時には、全員避難！



- 高齢者等避難
避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難を始めましょう。

- 緊急安全確保
すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。自宅内や近隣の建物の、少しでも危険が少ない場所(2階以上の山の反対側の部屋など)へ移動してください。



ガイドブックP34-35

2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える。

ここは、前回の講習で解説済みです。

皆さんは、警戒レベル3 高齢者等避難で避難を開始してください。

3 避難開始・避難完了のシールを貼る

シートに書いてみよう!

●2で考えた避難開始のタイミングについて、「避難開始」のシールを貼りましょう。また、避難する人も「避難開始」のシールに記入しましょう。

※高齢者など早めの避難が必要な家族がいる場合は、早いタイミングで、「避難開始」のシールを貼りましょう。

※1で記入した避難先ごとに、上下それぞれシールを貼りましょう。

例えば、おじいちゃんと一緒に避難する場合は、「私・おじいちゃん」と記入して、「避難準備・高齢者等避難開始」の下に避難先ごとに、貼りましょう。



●それぞれの避難先に安全に移動・到着するまでに必要な時間を踏まえて、「避難完了」のシールに避難する人を記入して貼りましょう。

4 避難開始までの行動を考えてシールを貼る

シートに書いてみよう!

●3でシールを貼った「避難開始」までに、何をすべきかを考えましょう。

例えば、「避難する親せき宅へ連絡する」や「常用薬を用意する」など準備の内容とそれに必要な時間を「空白シール」に記入して貼りましょう。

※誰が準備するかなども考え、記入しておきましょう。

●避難準備時間を、「全ての避難準備にかかる時間」のシールに記入して貼りましょう。

例えば「空白シール」に「お母さんが常用薬を用意する」と書いて貼りましょう。



5 地域に対しての行動を考えてシールを貼る

シートに書いてみよう!

●災害が起こりそうな時に、地域での役割がある場合は、地域の人などに呼びかけをしましょう。

●地域の人などに呼びかけるタイミングを「空白シール」に記入して貼りましょう。

例えば「空白シール」に「お母さんが近所のおばあちゃんに避難の呼びかけ」と書いて、貼りましょう。



平成30年7月豪雨災害に関する県民の避難行動の調査結果からわかった大切なことです。

- 家族や親戚、顔見知りの方からの避難の呼びかけは、避難を促進することがわかっています。一人だけでは避難が不安な場合や自分は大丈夫と感じている場合でも、避難を呼びかけあうことにより、避難行動に結びつきやすくなります。
- 一人では避難が難しい方や、高齢者など避難に時間がかかる方もいます。日頃から、地域の人と、呼びかけるタイミングや呼びかける方法、呼びかける順番などを話し合い、呼びかける体制などをつくっておきましょう。

避難の呼びかけの重要性

広島県では、平成30年7月豪雨災害において、避難行動をとった人が少なかったことから、避難行動の調査を行いました。この調査・分析結果において、周りの人から避難の呼びかけがあることが、早い段階での避難に繋がることがわかりました。避難した人からも、「近所の方から、避難を呼びかけられたから」「友人から、避難を呼びかけられたから」と、避難を決めるきっかけになったとの証言が多くありました。一人だけでは避難が不安な場合や、自分は大丈夫と思っている場合でも、避難を呼びかけ合うことが、避難行動に繋がります。地域で声をかけ合って、早めの避難に繋がれましょう。



(左ページ)

3 避難開始・退避完了のシールを貼る

●2で考えた避難開始のタイミングについて、「避難開始」のシールを貼ります。

また、避難する人も「避難開始」のシールに記入しましょう。

1で記入した避難先ごとに、上下それぞれシールを張ります。

●それぞれの避難先に安全に移動するまでに必要な時間を踏まえて「避難完了」のシールに避難する人を記入して貼ります。

4 避難開始までの行動を考えてシールを貼る

3でシールを張った「避難開始」までに、何をすべきか考えます。

例えば、「避難する親せき宅へ連絡する」や「常用薬を用意する」など準備の内容とそれに必要な時間を「空白シール」に記入して貼ります。

※1で記入した避難先ごとに、上下それぞれシールを貼ります。

誰が準備するかなども考え、記入していきます。

●避難準備時間を、「すべての避難準備にかかる時間」のシールに記入して貼ります。

(右ページ)

5 地域に対しての行動を考えてシールを貼る

●災害が起こりそうな時に、地域での役割がある場合は、地域の人などに呼びかけをしましょう。

●地域の人などに呼びかけるタイミングを「空白シール」に記入して貼りましょう。

例えば、「空白シール」に「お母さんが近所のおばあちゃんに避難の呼びかけ」と書いて、貼りましょう。

(オレンジ枠) 平成30年7月豪雨災害に関する県民の避難行動の調査結果からわかった大切なことです。

●家族や親戚、顔見知りの方からの避難の呼びかけは、避難を促進することがわかっています。一人だけでは避難が不安な場合や自分は大丈夫と感じている場合でも、避難を呼びかけ合うことにより、避難行動に結びつきやすくなります。

●一人では避難が難しい方や、高齢者など避難に時間がかかる方もいます。日頃から、地域の人と、呼びかけるタイミングや呼びかける方法、呼びかける順番などを話し合い、呼びかける体制などをつくっておきましょう。

(青枠) 避難の呼びかけ体制の重要性

広島県では、平成30年7月豪雨災害において、避難行動をとった人が少なかったことから、避難行動の調査を行いました。この調査・分析結果において、周りの人から避難の呼びかけがあることが、早い段階での避難行動に繋がることがわかりました。避難した人からも、

「近所の方から、避難を呼びかけられたから」

「友人から、避難をよびかけられたから」

と、避難を決めるきっかけになったとの証言が多くありました。

一人だけでは避難が不安な場合や、自分は大丈夫と思っている場合でも、避難を呼びかけ合うことが、避難行動に繋がります。

地域で声をかけ合って、早めの避難に繋がれましょう。

台風が近づいているとき！

名前

3~5日前

0時間

作成ポイント

避難に時間を要する人とその支援者は危険な場所から避難を助めよう。遅くともこの時には危険な場所から避難を始めよう。

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	避難に関する情報	自主避難など 注意の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
防災気象情報	大雨に関する気象情報 風に関する気象情報	大雨・洪水注意報 強風注意報	大雨・洪水警報 暴風警報	大雨特別警報 暴風警報	大雨特別警報
必要な情報	お住まいの地域によって必要となる情報 必要な情報に◎か○のチェックをいれよう！				
◎: 特に必要な情報 ○: 必要な情報 (およその時間)	高潮に関する気象情報	高潮注意報	高潮警報	高潮警報 高潮特別警報	高潮特別警報
	河川の氾濫に関する情報	氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
	土砂災害に関する気象情報			土砂災害警戒情報	

※警戒レベルや防災気象情報は必ずしもこのとおりの順番で発表されるとは限らず、あくまで目安です。

※雨の降りかたなどによって、記載している時間は変わりますので、目安としてください。

行動	私と家族				避難先①	災害発生
	地域				避難先②	

それでは、
1 台風が近づいている時
のシートを作成してください。

大雨が長引くとき!

名前



2~3日前



0時間

作成ポイント

避難に時間を要する人とその支援者は危険な場所から避難を初めましょう。遅くともこの時には危険な場所から避難を初めましょう。

警戒レベル

1

2

3

4

5

避難情報

避難に関する情報

自主避難など
注意の呼びかけ

高齢者等避難

避難指示

緊急
安全
確保

防災気象情報



早期注意情報

大雨に関する気象情報

● 大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報 (大雨の発生が予想される地域に発令)

大雨特別警報

必要な 情報

▼ お住まいの地域によって必要となる情報 必要な情報に か のチェックをいれよう!

河川の氾濫に関する情報

● 氾濫注意情報

氾濫警戒情報

氾濫危険情報 (数時間~1時間前程度)

氾濫発生情報

土砂災害に関する気象情報

● 土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報 (土砂災害の危険度が最も高まる最大2時間前程度)

: 特に必要な情報

: 必要な情報

(およその時期)

※警戒レベルや防災気象情報は必ずしもこのとおりの順番で発表されるとは限りません。あくまで目安です。

※雨の降りかたなどによって、記載している時期は変わりますので、目安としてください。

行動

私と
家族

地域

避難先①

避難先②

災害発生



次は
2 大雨が長引く時
のシートを作成してください。

短時間の急激な豪雨が発生するとき！

名前

2~3時間前

0時間

作成ポイント

避難に時間を要する人とその支援者は危険な場所から避難を促しましょう。遅くともこの時には危険な場所から避難を始めてください。

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	<input checked="" type="checkbox"/> 避難に関する情報 	自主避難など 注意の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急 安全 確保
防災気象情報	早期注意情報 <input checked="" type="checkbox"/> 大雨に関する気象情報 <ul style="list-style-type: none"> ● 大雨・洪水注意報 ● 大雨・洪水警報 (大雨や洪水による1時間程度) ● 大雨特別警報 				
必要な情報	▼ お住まいの地域によって必要となる情報 必要な情報に <input checked="" type="checkbox"/> か <input type="checkbox"/> のチェックをいれよう！				
<input checked="" type="checkbox"/> 特に必要な情報 <input type="checkbox"/> 必要な情報 (およその時間)	<input type="checkbox"/> 河川の氾濫に関する情報 <small>※氾濫に関する情報が発表されない河川では洪水警報・大雨警報の危険度分帯を見ながら危険度を確認</small>		<input type="checkbox"/> 氾濫危険情報 (該時間-1時間前程度) 氾濫発生情報		
	<input type="checkbox"/> 土砂災害に関する気象情報 <small>※土砂災害に関する気象情報や土砂災害警戒区域マップ上の危険度も見ながら危険度を確認</small>		<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒情報 (土砂災害の危険度が甚だる最大2時間前程度)		
	※警戒レベルや防災気象情報は必ずしもこのとおりの順番で発表されるとは限りず、あくまで目安です。		※雨の降りかたなどによって、記載している時間は変わりますので、目安としてください。		

**私と
家族**

避難先
 2・3階へ移動
 地下から地上へ移動
 山の反対側へ移動

災害発生

地域

最後に
 3 短時間の急激な豪雨が発生する時
 のシートを作成してください。

休憩



換気



密閉回避

5分間休憩します。
換気をして下さい。

作成状況の確認・共有

17

作成状況の確認。共有を行います。

休憩



換気



密閉回避

5分間休憩します。
換気をして下さい。

振り返り 質疑応答

19

振り返りと質疑応答を行います。

2日間に渡り、講習を行ってきましたが、いかがだったでしょうか？

防災に関する基礎的な理解が進み、みなさんが自分の力で情報を収集し、考え、判断することができるようになったのではないのでしょうか。

単純にマイタイムラインを作成するだけの講習ならば、1時間あればできますが、それでは皆さんのためにならないと考え、あえて濃い内容の講習にしました。

あとは、適切なタイミングで、適切な形の避難行動を開始するだけです。

質問のある方はいらっしゃいますか？

本日終了
お疲れさまでした。



20

本日の講習はこれにて終了します。
お疲れさまでした。